

第1回「教育を語り合う会」記録

日時：令和6年6月15日（土）9時30分～11時30分

場所：真鶴町民センター3階 講堂

参加者：42名（9グループ編成）

進行：塩田（真鶴町教育委員会：指導主事）

BGM：「Mana Manazuru」

（作詞；勝山千帆 作曲；MIDORI ボーカル；MIDORI）

開会

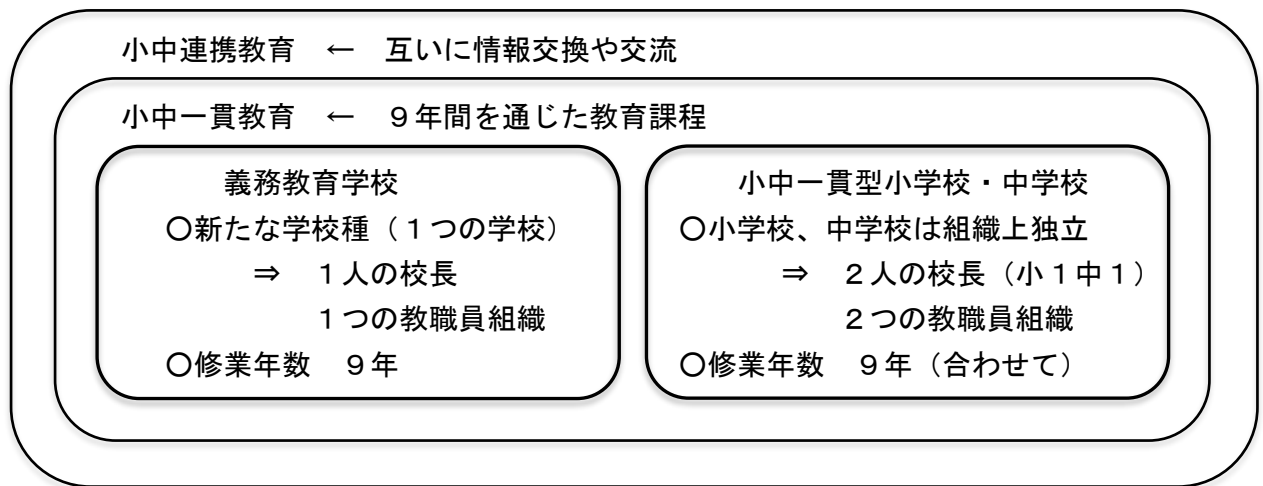
- ・進行役の自己紹介。休憩、水分補給は自由。
- ・「教育を語り合う会」は、魅力ある一貫教育校の実現に向け、学校や教育について町民みんなで考える場として、昨年度スタート。
- ・自身の野球部での経験の話。仲間や先生に支えられ、教員になるという新たな目標をもった。自分にとって学校は、笑顔を取り戻すことのできた場であり、新たな目標を与えてくれた場になる。
- ・今年の1月22日、石川県能登町のある小学校の写真。1月1日の震災後、3週間ぶりに学校を再開したときの写真。黙とうをしている。はじめは固い表情だった子どもたちだったが、すぐに友だちと笑顔で関わる姿が見られるようになった。
- ・今回の震災でも、多くの人がまず学校に駆け込んだ。学校は多くの人の命を支える場であり、心の支えの場でもある。
- ・文部科学省の調査結果から、小・中学校における不登校児童生徒数が年々増え続けていることがわかる。今の学校が合わない、学校に魅力を感じていない子どもが増えている。
- ・真鶴町のすべての子どもたちが笑顔になれる学校、毎日通うことが楽しみになる魅力的な学校を、町民の方々とともに創りたいと強く思っている。

「教育を語り合う会」の趣旨

- ・後世に誇れるような、素晴らしい学校を町民みんなで創りたい！
- ・一貫教育校の意義について共通理解を図りたい！

前回までの振り返り

- ・一番外枠に「小中連携教育」。互いに情報交換や交流をしながら教育に取り組む制度。
- ・その中に、9年間を通じた教育課程を編成する「小中一貫教育」があり、「義務教育学校」と「小中一貫型小学校・中学校」に分かれる。
- ・「義務教育学校」は2016年の学校教育法の改正により新設された新たな学校種。校長も一人、教職員組織も一つ、修業年数は9年。
- ・「小中一貫型小学校・中学校」は小学校と中学校は組織上独立。校長は2人、教職員組織も二つ、修業年数は合わせて9年。
- ・「義務教育学校」でも「小中一貫型小学校・中学校」でも、9年間の区切りを「6・3」ではなく、「4-3-2」や「5-4」のような柔軟な学年段階の区切りを設定することは可能。
- ・昨年度、4回行われた学校建設準備委員会で、施設一体型の小中学校の施設を建設する方向性が固まり、「義務教育学校」か「小中一貫型小学校・中学校」にするかは、現在議論を重ねている。



アイスブレイキング（どちらかと言えば）

- ・質問に対し、自分の考えに「どちらかと言えば」近い方を選んでグーかパーで答える。「せーの、ドン」の掛け声で一斉に手を挙げる。
- ・練習「夏か冬のどちらかしか選べないとしたら、どちらがいいか。」夏＝グー、冬＝パー。
- ・「狭い空間と広い空間のどちらがいいか。」狭い＝グー、広い＝パー。
- ・「畳の空間とフローリングの空間のどちらがいいか。」畳＝グー、フローリング＝パー。
- ・「一人で落ち着く空間と、みんなでワイワイできる空間のどちらがいいか。」落ち着く空間＝グー。ワイワイ空間＝パー。

本日の流れ等の確認

- ・前半の協議1では、トイレ、図書館、教室、ランチルーム、昇降口の5つの箇所の空間の工夫について考える。
- ・後半の協議2では、その他の箇所、例えば理科室や音楽室、美術室などの特別教室やグラウンド、屋上、体育館、プール、職員室、地域交流スペースなど、幅広く考えてる。
- ・気をつけたいことは、「この場は何かを決定する場ではなく、みんなで考える場であること」と「相手に何かを求めたり、責めたりする場ではなく、自分なら何ができるかを考える場であること」。

トイレの工夫

- ・学校における「5K」と呼ばれる場所はトイレ。「くさい、きたない、こわい、暗い、壊れている」
- ・約千人の小学生を対象にしたアンケート。「男子の4割が学校で大便をしたくない」と回答。「恥ずかしい」「からかわれる」「和式ではできない」との理由。
- ・工夫として、明るさ、小便器の間に仕切り、小便器をすべて撤去し洋式で個室化、ドアが弧を描くようにスライドする回転式に、姿見の鏡、トイレに柵、「みんなのトイレ」を設置など。
- ・2016年熊本地震の避難所アンケートでは、トイレが最も不便だったという結果。避難所となる体育館のトイレをバリアフリーにすることで解消できるかも知れない。

アイスブレイキング（後だしジャンケン）

- ・「ジャンケンポン」の合図のワテンポあとに、「ポン」と発声してジャンケンを出す。
- ・後出しジャンケンで、進行役に勝つ。リズムは「ジャンケンポンポン」。

- ・後出しジャンケンで、班の進行役に負ける。リズムは「ジャンケンポンポン」。4回行う。
- ・後出しで勝つよりも、負ける方が難しい。「ジャンケン」は勝つものという考え。勝つものという固定観念でやってきた人にとって、いつもと違うことをするのは簡単そうで難しい。
- ・今日は固定観念を捨て、柔軟な発想で考えて欲しい。

ワークショップ

○協議の流れ

- ・トイレ、図書館、教室、ランチルーム、昇降口の5か所について各グループで考える。
- ・最初の10分間、個人で考える。付箋には1枚に一つの考えを書く。その後、協議を30分間。共有の仕方については各班の進行役の方に任せる。最後に2班くらい、全体でシェアする。

○テーマ1「みんなが使う空間、『どんな工夫』ができるかな?～トイレ・図書館・教室・ランチルーム・昇降口～」

* 付箋紙に書かれた内容は次の通り。(カテゴリー化等は、後日事務局で行った。)

●トイレ

<環境・空間>

- ・明るいトイレ ・明るくてキレイなトイレ ・きれい・明るい・広い
- ・空が見える ・太陽光がさしこむトイレ ・風通しのよいトイレ
- ・きれいな空間(明るさ・換気) ・明るくて開放的で清潔
- ・おしゃれな空間 ・読書もできるトイレ ・汚れがつきにくい
- ・良いニオイのトイレ ・におわないトイレ ・臭いがこもらない設計
- ・かわいい絵があるなど行きたくなるトイレ ・消音できる(ムーディな音楽)
- ・壁又は床に色をつかい明るくキレイな空間 ・そうじのしやすいトイレ
- ・サンダルに履き替えなくていい(きれい)
- ・トイレの出入り口にくつの裏を消毒できるようなものを設置

<個室等>

- ・プライベートが守られる空間(全個室) ・完全個室 ・完全個室型のトイレ
- ・男子も個室型のトイレ ・男女とも個室(すべて) ・広い個室
- ・便器以外の空間にゆとりがある ・個室内に物を置けるスペース
- ・移動中の荷物が置ける ・荷物がおけるトイレ ・1つ1つのトイレに掃除用品
- ・1台くらいは訓練のために ・小便器もあるトイレとすべて個室のトイレ
- ・小便器での立ちトイレ(保育園で練習してる⇒できるようになったからやりたい)

<誰でも安心>

- ・ICU大学でジェンダーレストイレを体験し、これからの時代主流になるかもと思った
- ・バリアフリーのトイレ(震災のときにいろいろな人が使える) ・家と同じトイレ
- ・学年別で安心して使えるトイレ ・性別に関係なく使えるトイレ
- ・地域の人が見えるみんなのトイレ(オムツがえ、多目的) ・誰でも使えるトイレ
- ・町民も使えるトイレ(防犯△) ・地域の方と子ども達、普段はあえて別々に使う
- ・中央に配置 ・はなれた場所にある

<設備・備品等>

- ・かがみの大きなトイレ ・姿見の鏡 ・鏡のあるトイレ
- ・ペーパーがやわらかい(学校のはかたい) ・生理用品そなえつけ ・ナプキン
- ・あたたかい ・ウォシュレット ・自動で流れるトイレ
- ・節水・節電(災害時を想定) ・企業の研究所としてのトイレ

●図書館

<環境・空間>

- ・窓が多く光が差し込む図書館
- ・明るさを調整できる図書館
- ・すわって読めるスペース
- ・ゆったり読める工夫（イス・半個室・畳など）
- ・気持ちを落ち着かせてゆったりできる空間
- ・ごろごろできる（靴ぬぎスペース）
- ・癒しの植物がある
- ・だべりスペース
- ・ゴロゴロできる
- ・すきな姿勢で本を読める
- ・おこもりスペース
- ・くつをぬいでこもり感
- ・リラックス
- ・昼寝スペース
- ・寝転んで読める図書館
- ・横になって本が読める図書室
- ・畳スペースのある図書館
- ・空調
- ・明るく通路広めに
- ・防音の図書室とプレールームのコラボ部屋
- ・小中一緒に語り合える場も
- ・話してもいい図書館
- ・飲食もできる
- ・談話室（本について語れる）
- ・ボードゲームができる空間

<設備・備品等>

- ・空調
- ・ソファ・クッションがある
- ・所々にベンチがある
- ・すきなイスをえらべる
- ・リラックスできるソファ
- ・展示・発表の場となる余白（ポップ、ポスター）
- ・子どもでも届く本棚の図書館
- ・子どもの目線に合わせた棚

<地域開放・交流>

- ・図書室ではなく図書館
- ・地域の方も使える
- ・土日もやっている
- ・誰でもこれる図書室
- ・町の図書館
- ・読み聞かせしてくれる機会
- ・地域の方のミニセミナーみたいなイベント
- ・読み聞かせ
- ・町が所蔵する本を全て一箇所にまとめ、町民も利用できる
- ・地域の人も利用できるフリーな図書館

<学習の場・蔵書>

- ・勉強できる（夕方も）
- ・自主学習ができる図書館
- ・1人で勉強できる空間
- ・学習席の間にパーテーションをつけてほしい（勉強に集中するため）
- ・読書、調べ学習
- ・マンガで学べるシリーズの本を置く
- ・古い本に触れられる機会（ボロボロの本もあっていい）
- ・特色ある蔵書（英字・大型・雑誌）
- ・本がたくさんある図書館

<居場所>

- ・音楽等そこに居たいと思う空間としての図書館
- ・担任の先生から解放されるスペース
- ・音楽が流れる・映像が見える図書館
- ・居場所となる図書館（何もなくてOK、いるだけでOK）
- ・保健室登校している子も使える図書館

<司書・システム>

- ・本好きの司書のいる図書館
- ・受付がいる図書館
- ・本の相談ができる
- ・司書がいる（電子化しすぎない）
- ・司書常駐の図書館
- ・司書とおしゃべりできる
- ・常に人（司書）がいる図書館
- ・選んだ本からオススメ本がでてくるシステム
- ・本の貸借が簡単な図書館
- ・WEB検索できる図書室

<その他>

- ・一箇所に集中しない分散型の図書館
- ・部屋という概念ではなく色々なところに本を置く

●教室

<環境・空間>

- ・明るくワクワクするような空間
- ・明るい・すずしい・あたたかい
- ・光をとりこんだ教室にしてほしい
- ・明るい自然光がはいる空間
- ・あたたかみのある空間（木）
- ・木のぬくもりがある教室
- ・広い教室（個々のスペースが十分にとれる）
- ・清掃しやすい教室
- ・ゆったりしていて席替えしやすい教室
- ・キレイで動きやすい教室
- ・集中できる
- ・落ち着いて居れる空間
- ・飲食OKな教室
- ・一人になれる空間やコーナーのある教室

<多様な学びの場>

- ・廊下との壁をとる
- ・好きな場所で学べるフリーな教室
- ・好きなイス・机で学べる
- ・好きな姿勢で学べる
- ・好きな所に座れる
- ・可変性のある教室
- ・はだしで過ごせる教室（たたみ？）
- ・あそぶところ（おもちゃがある）スペース
- ・円形の教室
- ・パーティションで自由に区切れるような教室
- ・いろいろ使用できる教室
- ・生徒数の増減に柔軟に対応できる教室
- ・プラネタリウム
- ・青空教室・町内教室（教室は小さく外で学ぶ）
- ・ICT対応が更新可に
- ・海外とICTでつながる教室

<収納>

- ・物を置くスペースは廊下に
- ・すっきりした教室（物の置き場など）
- ・収納スペースを多めに
- ・使いやすいロッカーのある教室
- ・自分専用のロッカーがある（とびら付き）
- ・大きめのロッカー
- ・大きめのロッカーが教室の中に
- ・収納が広く大きい教室
- ・壁収納（ランドセル見えない）
- ・教室のロッカーにとびらがついてほしい（ランドセルが落ちると授業に集中できない）

<設備・備品等>

- ・黒板の上下移動ができる教室
- ・プロジェクターが投影できる黒板
- ・黒板＝スクリーンとプロジェクター付き
- ・黒板をホワイトボードにする（スクリーンがわりにもなる）
- ・教室の四方にスクリーンがある（出せる）教室
- ・机が大きめで使いやすい
- ・ローラー（ストッパー）つきで移動しやすい机
- ・机・イス移動しやすい
- ・机・イスが移動楽な教室
- ・ずっと持ち上がりの机・イス
- ・教科書やタブレット等を置くスペースのある机
- ・安全な備品（かどがまるいとか）
- ・教室内にウォーターサーバー

●ランチルーム

<環境・空間>

- ・教室で食べずみんなが集まってランチルームで食べる
- ・大きなテーブルでみんなで食べられる
- ・交流できるランチルーム
- ・小中で食べる機会も！
- ・好きな場所でお昼が食べられる
- ・テラス席のあるランチルーム
- ・カフェのような食堂のような広い空間
- ・カフェテリア
- ・チェーン店が入る（フードコート）
- ・広々していて利用しやすいように（1階か低い階に）
- ・余白のある空間

- ・最上階に
- ・長机じゃなく色んな型・席数のテーブルがある
- ・くつろげるランチルーム
- ・音楽が流れているランチルーム
- ・映像が見られるランチルーム
- ・学食のようなランチルーム
- ・畑のとなりにあるランチルーム
- ・畑のそばで食べられる外のランチルーム

<地域開放・交流>

- ・町民（大人）も使える
- ・地域の人もいるランチルーム
- ・地域にも開放できる
- ・地域の方も自由に使える
- ・町民も安価で生徒と同じ給食が食べられる
- ・学校の先生が来ない、地域の人が見に来る（食べに来る）ランチルーム
- ・地域の食堂としてのランチルーム
- ・災害時を想定したランチルーム

<食育・メニュー>

- ・地産地消
- ・感謝の気持ち食育
- ・作った人の顔が見える（作った人も嬉しい）
- ・選べる食べ物
- ・選べるメニュー
- ・掲示物を工夫し食欲増進・楽しい
- ・給食を作っている様子がガラス越しに見える（調理員は食べている様子も見られる）
- ・お楽しみ給食の実施
- ・子どもが提供することもできるランチルーム
- ・お弁当持ち寄りパーティ（電子レンジとか置く）

<多目的な利用>

- ・料理を習うことができる
- ・レシピコンテスト
- ・放課後は地域憩いの場
- ・自習室
- ・職員のお茶ができる場
- ・休憩室
- ・多目的に使えるランチルーム
- ・通常の休み時間でも休憩できる
- ・図書室の隣で、借りた本を持ち込める
- ・「ランチルーム」⇒「〇〇ルーム」…新しい名前をつけよう
- ・1人の子が逃げる目的でも使える大人がいるランチスペース
- ・そもそも必要か

●昇降口

<環境・空間>

- ・広々
- ・広い地域の方が来やすい昇降口
- ・入りやすい昇降口
- ・間口の広い昇降口
- ・ふきぬけの昇降口
- ・学校の顔となるような昇降口
- ・段差のない昇降口
- ・バリアフリーな昇降口
- ・1・2年生と7年生以上を分ける
- ・学年ごと色分け
- ・3つくらい玄関がある学校
- ・ベンチのある昇降口（少し休めるゆとり）
- ・ディズニーランドのエントランス（入る前のウキウキワクワク）
- ・絵とか作品の発表の場にする
- ・ひみつの下校ができる昇降口
- ・ダレとも会わなくても帰れる昇降口
- ・はだしで校庭で遊んで足が洗える昇降口

<下駄箱>

- ・小学生と中学生の大きさや高さを分ける
- ・ゆったりした大きさの靴箱
- ・靴入れの高さが低く、明るくしてほしい
- ・クツが恰好良く置ける下駄箱
- ・広い昇降口でシューズケースを大きく
- ・くつばこが広め（長ぐつを入りたい）
- ・箱をやめる
- ・荷物が置ける・入れられる下駄箱
- ・どっちが上履きでどっちがクツなのか表示がほしい（去年は上履きを下に入れる人がいた）

<防犯>

- ・「セキュリティ」がしっかりしたもので安全な空間に！
- ・セキュリティが万全な昇降口
- ・昇降口に誰が入ったのか（地域の人）すぐに職員室に伝わる

- ・防犯システムがしっかりしている（職員室から確認できる）
- ・くつのおし入れをしたら保護者に連絡がくる（見守り機能）
- ・個別ロッカーで出欠管理 ・傘がぬすまれない
- ・統一のかさをつくってかさの貸し出し

<その他>

- ・上履きに履き替えないで校内で過ごせるようにし、下駄箱はいらない
- ・くつのまま校内に入れる（心理的ハードルがなくなる、清掃してくれる人が必要か）
- ・昇降口はなくてもよい（公民館的な）

事例紹介

- ・学校図書館 … 廊下との仕切りなし、学校の中央階段のところに設置、昇降口近くにオープンな図書館、落ち着いて本を読めるスペース、バーコードの読み取りだけで貸出手続きが終了するシステムを導入、村立図書館の小・中学校との連携
- ・教室 … 教室内にロッカーなし、収納スペースは廊下に配置、鍵付きのロッカーを採用、教室の真ん中に可動式の間仕切りを採用、机のサイズや形で対話が生まれやすく、プロジェクターを教室に取り付けて直接投影、黒板からホワイトボードに切り替え
- ・ランチルーム … カフェのようなランチスペース、ランチルーム横のウッドデッキ、調理しているところを見ることができ食育に生かす、食堂形式のランチルーム、隣に調理室を配置、隣に音楽室を配置し発表会や演奏会を鑑賞するスペースに
- ・昇降口 … 光が多く入るような工夫、掃除しやすいよう工夫、長靴が入る十分な高さ、雨の日の濡れた合羽を干して置けるスペース、取り間違いの起こらない傘立て

ワークショップ

○テーマ2「みんなが使う空間、『どんな工夫』ができるかな？～特別教室・グラウンド・屋上・体育館・プール・職員室・地域交流スペース等～」

*付箋紙に書かれた内容は次の通り。（カテゴリー化等は、後日事務局で行った。）

●特別教室

<各教科>

- ・各教科の特別教室 ・たくさんの工具がある技術室 ・機器の充実
- ・楽器や楽譜を入れる個別ロッカー ・恐くない音楽室・理科室
- ・つくったものが飾れる図工室 ・専門に指導できる教員の配置
- ・間仕切りができ大小に使える部屋 ・先生のこだわりが詰まった特別教室
- ・鏡張りの多目的室 ・集会ができる部屋もしくは空間
- ・固定されない広いスペース（階段スペースも）
- ・一見意味がないよくわからないスペース
- ・ちょっとしたところに発表スペース（階段など）
- ・ものづくりスペース（道具・机・水道・そうじ・収納など）

<居場所>

- ・授業で使わないときにも入れる特別教室 ・不登校児受け入れ
- ・息抜きをしたい子どもがいられる場所
- ・支援級の充実（一人一人が夢中になれるものをサポートできるネットワークづくり）

<地域開放・社会教育>

- ・生涯学習センターとしての特別教室 ・宿泊許可がでている教室（わくわく）

- ・特別教室の地域開放・共用化 ・ランチルームで食べられる調理室
- ・災害時を見越して外から入れる調理室とランチルーム併設
- ・ライブのできる音楽室 ・町民が利用できる特別教室（音楽室・家庭科室）
- ・地域の画家の方の絵の展示された美術室 ・部室・サークルの部屋
- ・PMに児童に体験教室開催（サッカー教室、プール教室など）
- ・漁師さん・石屋さん・料理人など地域のプロの技を学べる特別教室
- ・聖なる場所（礼拝堂） ・学校カフェ（教室1区画を地域に開放）
- ・学校の横に畑（学級園と地域の方） ・町の企業家が集まるスペース
- ・地域の課題と子どもの発想を結び付ける（アントレプレナーシップづくり）
- ・アトラクションのような特別教室（ディズニーランドのような） ・映画館

●グラウンド

<環境・空間>

- ・広いグラウンド ・スペースの確保（200mトラック） ・200mトラック
- ・グラウンドと体育館を広くし部活動の活性化
- ・人エトラック ・水たまりができないグラウンド ・水はけ◎
- ・グラウンドの芝生化（手入れは地域の方のお手伝い） ・芝のグラウンド
- ・砂ぼこりのたたないグラウンドがほしい ・安全な遊具 ・エコな遊具
- ・地域の子どもたちが遊べるグラウンド（遊具）
- ・遊具を残してほしい（公園が少ないので） ・あそびまなべる植物・木々
- ・平らじゃない（デコボコ、坂道、ビオトープ） ・築山や池があるグラウンド
- ・グラウンドにロッククライミングがあってほしい ・草花がたくさんある
- ・緑地スペース・木陰のあるグラウンド ・日かげのスペース
- ・ふかふかなグラウンド（砂や泥に触れられる）
- ・グラウンドの一部に里山を（地形、切り株、ミニ林、池、山）
- ・畑があるグラウンド ・グラウンドに畑をつくる ・たい肥をつくる
- ・スプリンクラー

<使い分け・地域開放>

- ・部活での活用と授業との折り合い ・小中の使い分け（色分け？）
- ・低学年がゆったり遊べる場所と広々と使える場所に分かれているグラウンド
- ・地域の人が入りやすいグラウンド
- ・小中運動会と町民運動会が一緒にできるスペース（町の一大イベントに）
- ・キャンプファイヤーができるグラウンド ・キャンプ体験（一泊）
- ・駐車場（安全・分離） ・ルールを増やさない（グラウンド・体育館）

●屋上

<環境・安全>

- ・庇のある学校（気持ちいい日かげ） ・屋根のある校舎 ・緑のある屋上
- ・花のある屋上 ・開閉式で人工芝 ・寝転がれる屋上（緑地）
- ・ベンチ・植物・芝等 ・芝生（ごろごろできる・座れる）
- ・クッション性の高い地面（コルク）又は人工芝 ・走れる屋上
- ・弾力性のある床面 ・安全を確保し自由に入れるスペースに
- ・体育の授業でも使えるようにラインを引く

- ・安全配慮し立ち入ることが当たり前ができる環境
- ・危険がないは設計上可能か
- ・安全性の確保
- ・屋上の柵に返しがついてほしい

<多目的な活用>

- ・菜園
- ・屋上は菜園でクールに
- ・遊具をたくさん置いた屋上
- ・バンジージャンプ
- ・休み時間に利用できるなど開放
- ・放課後児童クラブや放課後の遊び場（グラウンドは部活）
- ・広い駐車場を作って町民も保護者も学校に足を運びやすくする
- ・ランチルームや教室がわりに使える屋上
- ・屋上テラス
- ・ヘリポート
- ・イベントができるスペース（ステージ）
- ・地域住民憩いの場
- ・ロマンチックな屋上
- ・屋上展望台
- ・プラネタリウムがあってほしい
- ・プラネタリウム復活させて
- ・月1回星観察として屋上を使う
- ・星空観察できる屋上
- ・屋上までの動線に発表スペース

●体育館

<環境・施設等>

- ・冷暖房付き体育館
- ・エアコン
- ・トイレの充実（洋式）
- ・更衣室のある体育館
- ・シャワーがあるといい
- ・ステージ前移動式階段
- ・空気の入替えをしやすい体育館
- ・ネット環境のある体育館（Wi-fi）
- ・安全に物が管理できる体育館
- ・体育用具の出し入れキャスター付
- ・ライブ会場にもなる
- ・大・小それぞれあるとよい
- ・体育館は現在のものを利用する？
- ・1Fプール、2F体育館、3F武道場
- ・1Fプール、2F体育館
- ・武道場を兼ねた多目的ホール
- ・パラリンピックの体験学習
- ・プロの試合もできて本物に触れて憧れを抱く
- ・町民も使うなら…ジム、外周コースなど

<避難所>

- ・冷暖房必須（子どもの健康、災害時の避難所）
- ・バリアフリーのトイレ
- ・災害に備えたつくり
- ・避難所としての機能
- ・トイレ・シャワーの完備
- ・避難所になってもこわくない温かみのある体育館
- ・体育館もパーテーションで区切れるように

●プール

<環境・空間>

- ・上下に動く床（操作は自動）
- ・深さが調節できるプール
- ・床がボコボコしているので直してほしい
- ・魚・海・磯のイメージのプール
- ・温水
- ・温水シャワー
- ・屋内
- ・キレイな更衣室
- ・グラウンドを広くとるために屋上にプールをつくる
- ・中3で遠泳（プール⇒海へ）

<地域開放>

- ・一般開放⇒町民の健康へ、未病、介護不要へ
- ・町民も使える（有料）
- ・町の健康施設としても活用できる温水プール
- ・観光施設としての温泉プール
- ・プール⇔スケート場で民間にお願いする
- ・みんなで入れる広いプール

<要不要>

- ・プールは必ずほしい（現まなづる小プールの改修では？その他の方法は？）
- ・健康+防災のために必要

- ・プールは他地域に出かける
- ・プールは湯河原と共用して使えるようにしたい
- ・プールはいらないかも（スイミングスクールや岩海岸）…建設費や維持費を別のことに使ってもいい
- ・海がプール

●職員室

<空間・環境>

- ・職員室は小中別で
- ・小中学校のある程度の区切りは必要
- ・小中の教員が隔離されていない職員室
- ・小中同じ空間
- ・一人一人の空間を広く開放的⇒数箇所拠点があるとよい
- ・明るく広い職員室
- ・児童のスペースを設置しコミュニケーション

<先生にとって>

- ・先生方がほっとできるスペースの確保
- ・先生オンリーの休憩室
- ・先生だけの休憩室
- ・カフェスペースのある（小会議ができる）
- ・先生も好きな場所で作業できれば…
- ・先生たちが仲良くなれる職員室
- ・先生たちも行きたくなる学校
- ・事務室があったら、先生方の事務仕事が減って教育に時間を使ってもらえるかも

<子どもにとって>

- ・児童・生徒が声をかけやすい職員室
- ・入りやすい職員室
- ・子ども達が入り込むスキのある職員室
- ・生徒が入ってこれる職員室
- ・明るく入りやすい職員室（先生の顔が見える）
- ・「先生になりたい!」と思える学校を

<備品等>

- ・移動しやすい机
- ・移動式の机
- ・収納スペース豊富
- ・物がすっきりしまえる場所がある職員室
- ・オフィス化
- ・ICT対応
- ・フリーアドレスにする
- ・可変、ソファ、間仕切り
- ・共有用電光掲示場（予定とかおしらせ）

●地域交流スペース

<施設>

- ・コミュニティルーム（スペース）
- ・寮完備（町民も観光客も）
- ・放課後クラブと地域集会所の併設

<地域の活用>

- ・運動会はなくして防災・スポーツ・マルシェの要素を含んだもの
- ・マリンスポーツ
- ・海の教室
- ・海、お林、石、漁業
- ・産業が学べる（農・工・商・漁）
- ・日常交流はセキュリティなど難しいのでイベントでたくさん
- ・小中学生のうちにいろいろな職業を知りたいな
- ・町内から先生をお呼びして先生以外の大人とつながる
- ・専門学校コース設定

●廊下・中庭等

- ・ちょっと体を動かしたくなる空間⇒ボルダリングの石（小松石）、ケンケンパ
- ・遊具やベンチのある中庭
- ・廊下を広く
- ・ビオトープ（生き物のいる空間）

●その他

- ・Wi-fiを校内全てに
- ・のんびり本が読める自分の席
- ・保健室…シャワー室、相談室、個別指導室完備
- ・使いやすい広い倉庫
- ・地域の方も観光客も利用できる
- ・水族館

まとめ

- ・「慮」。おもんばかると読む。相手のことをよくよく考える、思いをめぐらすという意味。
- ・本日の協議では、本当にたくさんの付箋を貼っていただいた。付箋を書く際、町の子どもたちの笑顔を思い描いていたのではないかな。
- ・町民の皆様と共に、町の宝である子どもたちを慮り、町の子どもたちのために、後世に誇れるような、そして全国に誇れるような、素晴らしい一貫教育校を、町民みんなの力で創りたい。
- ・ただの建物ではない、みんなで創り上げる一貫教育校。そこで育まれる子ども、地域の絆は、かけがえのない、「町の宝」になると確信している。

◎振り返りアンケート（感想は次の通り）

1 大変良かった 25名 よかった 5名 ふつう 4名 よくなかった 0

- ・毎回さまざまな意見、希望が聞けて、とても学ぶことが多い。「夢を語る」ステキな事です！
- ・2回目の参加でしたが、いろいろな案がでて、さまざまな意見が出せてよかったです。また次回も参加してみたいと思いました。
- ・今までなかなか学校のことについて詳しく考える機会がなかったので、その機会を設けていただけてよかったです。
- ・班の中に中学生と就学前の参加者もいたが、就学前のお子さんからトイレの話題の際、「小便秘」はあった方が良く、理由は幼稚園で先生から教えてもらい、自分一人で出来るようになったことがうれしいから。自己達成感の表現の場でもあることに気付かされました。自分の常識は、まだまだ非常識でした。
- ・色々な方の発想を聞いて、イメージを出すことができました。1人で考えていても、なかなか思いつかないので…、こういう場は大切だと思います。もっと多くの人に参加して頂きたいですね！ 小・中学校内でも同じようなことをして、学生の声を知りたいです。
- ・グループ内、全員教育関係者だったので、一般の住民の方が参加しやすい、できる場所づくりになると良いなと思います。
- ・ワクワクするテーマだったということもあり、たくさんの楽しいお考えをきくことができました。どれか1つでも具現されるといいな…と思っています。ありがとうございました。
- ・多様なバックグラウンドの方と話げできたことが、自分のための学びになりました。会場の雰囲気もとてもよく、話をしやすい雰囲気でした。ありがとうございました。
- ・自由なアイデアが変化をうむと思っています。こういう場で出たアイデアを形にしていくことが、よい学校を作ることになると思います。
- ・色々な活用アイデアが出ていくなかで、耐久性のことに触れてなかったなと思います。ホワイトボードの耐久性とか、実際的なお金や、使える物の年数などの話がしたいなと思いました。
- ・他のグループのご意見も、みてまわりたかったです。ありがとうございました。
- ・最初どんな学校にしたらよいか、あまりイメージがわかかなかったのですが、皆さんとお話して、いろいろと夢が広がってきました。どれだけかなえてあげられるかわかりませんが、子ど

も達が生き生き活動できる環境を、たくさん整えてあげたいですね。ありがとうございました。

- ・子ども達のために、みんなで考えることができよかったです。町民の方にも、もっと多く参加してほしいなと思いました。
- ・意見が反映されることを願います。入口は違っても、希望することは同じと痛感しました。次回は勉強して参加したいと思います。
- ・自由で柔らかな雰囲気の中で、子どものキラキラ輝く姿をイメージして、たくさんのアイデアが出てきておもしろかったです。新しい学校づくりという、とても可能性のあるプロジェクトにわくわくします。今後も楽しみです。
- ・新しい学校にたいして、皆さんの熱い思いを聞くことができ、とても貴重な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。
- ・学校建設に向けて、皆が同じ方向を向いている人が集まると、より良いアイデアがわき上がり、とても有益な会でした。今日は参加者が少なかったのもっと多くの方々に参加していただきたいと思いました。
- ・グループワークで話し合う時間が十分確保されていて、とてもよかったです。発表するグループ数も1つずつで安心でした。
- ・地域の方々と夢を語り合えたことで、小中一貫の実現に向けて楽しみな気持ちになりました。ありがとうございました。
- ・子どもたちの笑顔のためにをキーワードに、それぞれの立場の人たちと交流できたのはよかったです。柔軟な考えをもち、人、もの、ことをつなげていきたいです。おつかれ様でした。
- ・みなさまと話し合ってみて、子どもがわくわくと行きたくなる学校は、地域の方も行きたくなる場になることが必要だと感じました。とても楽しく、あつという間の時間でした。ありがとうございました。
- ・それぞれが自分の思いを話し、それについて理解を深める大事な時間になりました。是非子どもも町民も自慢できる学校をつくりましょう。
- ・夢のような施設ができあがりしました（笑）。「教育を語り合う会」は、先生・地域の方・保護者のみなさんが、ただ夢を語り合い「こうしてほしい」と願いを言う場ではなく、語り合う中で、みんなの思いをひとつにしていく場なのだと改めて感じました。
- ・“第1回”としては、良い企画だったと思います。次回は、もう少し議論の場があるとうれしいです。ありがとうございました。
- ・一貫校の建設の話の中で、必ず「地域」がワードとして出てきます。真鶴町だからできること、地域と学校が手を取り合って協議することで、地域が活性化するのだと改めて感じました。次回もぜひ参加したいと思います。とてもよい会でした。
- ・この様な機会がもて、大変良かったと思います。
- ・4人くらいが、やはり話し合うにはちょうどいいと感じました。
- ・これからの学校について、ワクワクしながら考えることができました。新しい学校がよりよい施設となるといいと思います。
- ・校舎について、みなさんの意見が聞けて良かったです。今回はハード面での論議でしたが、次回はマンパワー、ソフト面での話のようで楽しみにしております。
- ・少し人が減った気がした（特に子ども）。
- ・もっと子供達、保護者、地域住民をまきこんで、参加者をふやす努力をしてほしい。今日出た意見がどのように計画にもりこまれるかの説明を、丁寧にしてほしい。グループごとに対話の時間が長めにとれていたのは良かった。

- ・昨年度の語り合う会の結果が、学校建設委員会でどのように活かされているのかを知りたいです。
- ・「後世に誇れるような素晴らしい学校を、町民みんなで創りたい」を合言葉に、会を重ねてきて、毎回参加して話していると楽しい気持ちになるのですが、いつも思うのですが、この話し合ったことがどんなふうにかされるのか、話せばなしになるだけで、決められた方向にまどまってしまふのではと思います。ぜひぜひ、ここで話し合われたことが、こうかされたというのを知ることができるといいです。